

第2学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日(〇)〇校時

場 所 2年〇組教室

授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名 勇気を持って「A-(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任」

2 ねらいと教材

(1)ねらい

良いことと悪いこととの区別をし, 良いと思ったことは, 小さなことでも遠慮しないで進んで行おうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

(2)教材名

「おれた ものさし」(東京書籍 新しい道徳2)

3 主題設定の理由

(1)ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は, 小学校学習指導要領特別の教科道徳, 内容項目A-(1)「善悪の判断, 自律, 自由と責任」の「よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと」を受けている。

人として行って良いことと, 社会通念として行ってはならないことをしっかりと区別したり, 判断したりする力は, 児童が幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。良いこと, 正しいことについて, 人に左右されることなく, 自ら正しいと信じるころに従って, 誠実かつ謙虚に行動することは, 人として重要なことである。

低学年の段階においては, 何事にも興味, 関心を示し意欲的に行動することが多い反面, まだ集団生活に十分に慣れていないために, 引っ込み思案になったり物おじしたりすることも少なくない。

そこで, 自ら正しいと信じるころに従って, 良いと思ったことは遠慮しないで進んで行うことができる意欲と態度を育てることが大切だと考え, 本主題を設定した。また, ねらいとする道徳的価値に迫ることで, 人としてしてはならないことをしない心を育てていきたい。

(2)児童のこれまでの学習状況や実態

本学級の児童はこれまでに, 1年時に「ダメ」「それっておかしいよ」の学習で, 積極的に行うべき良いことと, 人間としてしてはならないことを正しく区別する判断力を, 2年時に「わすれられないえがお」の学習で, 良いと思ったことができたときのすがすがしい気持ちについて学習してきている。良いことと悪いこととの区別ができる児童は多いが, 良いと思ったことを自らが正しいと信じるころに従って行動することについては消極的な態度の児童もおり, 引っ込み思案になったり物おじしたりすることも少なくない。そこで, 以前, 良いと思ったことを伝えられなかった主人公がなぜ伝えられるようになったのか, その心の変容について考えさせることで, 良いと思ったことは, 小さなことでも遠慮しないで進んで行おうとする道徳的実践意欲と態度を育てていきたい。

(3) 使用する教材の特質

先生のものさしを折ってしまったのぼるは、折れたものさしをひろしに持たせてひろしのせいにする。それを見ていた「ぼく」は、以前にのぼるから壊れた下敷きを押し付けられ自分のせいにされたことを思い出す。今にも泣き出しそうなひろしを見て、「ぼく」はひろしからものさしを取り、のぼるに渡すという話である。

のぼるが行ったことは間違っていると伝えられなかった「ぼく」の気持ちと、ひろしからものさしを取りのぼるに渡すことができた「ぼく」の気持ちの比較を通して、よいと思ったことを進んで行うことの大切さについて気付かせることができる教材であると言える。

(4) 指導観

低学年の段階では、物語の主人公と自分を切り離して考え、強い正義感の基、「だめなことはだめと言えればいい」と考える児童が多いと考えられる。

そこで本時の指導に当たっては、導入で、状況によって正しいと思ったことを相手に伝えることが難しくなることを具体的な場面を提示しながら考えさせ、問題意識を持たせるようにする。展開の「ぼく」がのぼるから下敷きを押し付けられる場面では、のぼると「ぼく」の力関係をpushしながら、伝えたいけれど伝えられない「ぼく」の葛藤をpushさせる。また、「ぼく」が、ひろしが折れたものさしを持たされている姿を見て心の中で叫ぶ場面では、「自分がこのクラスにいたらどうするか」と考えさせることで自分事として考えられるようにする。さらに、どうして「ぼく」はのぼるにもものさしを渡すことができたのか、その変容の理由を考えさせることで、良いと思ったことは小さなことでも遠慮しないで進んで行おうとする道徳的実践意欲と態度を身に付けさせたい。

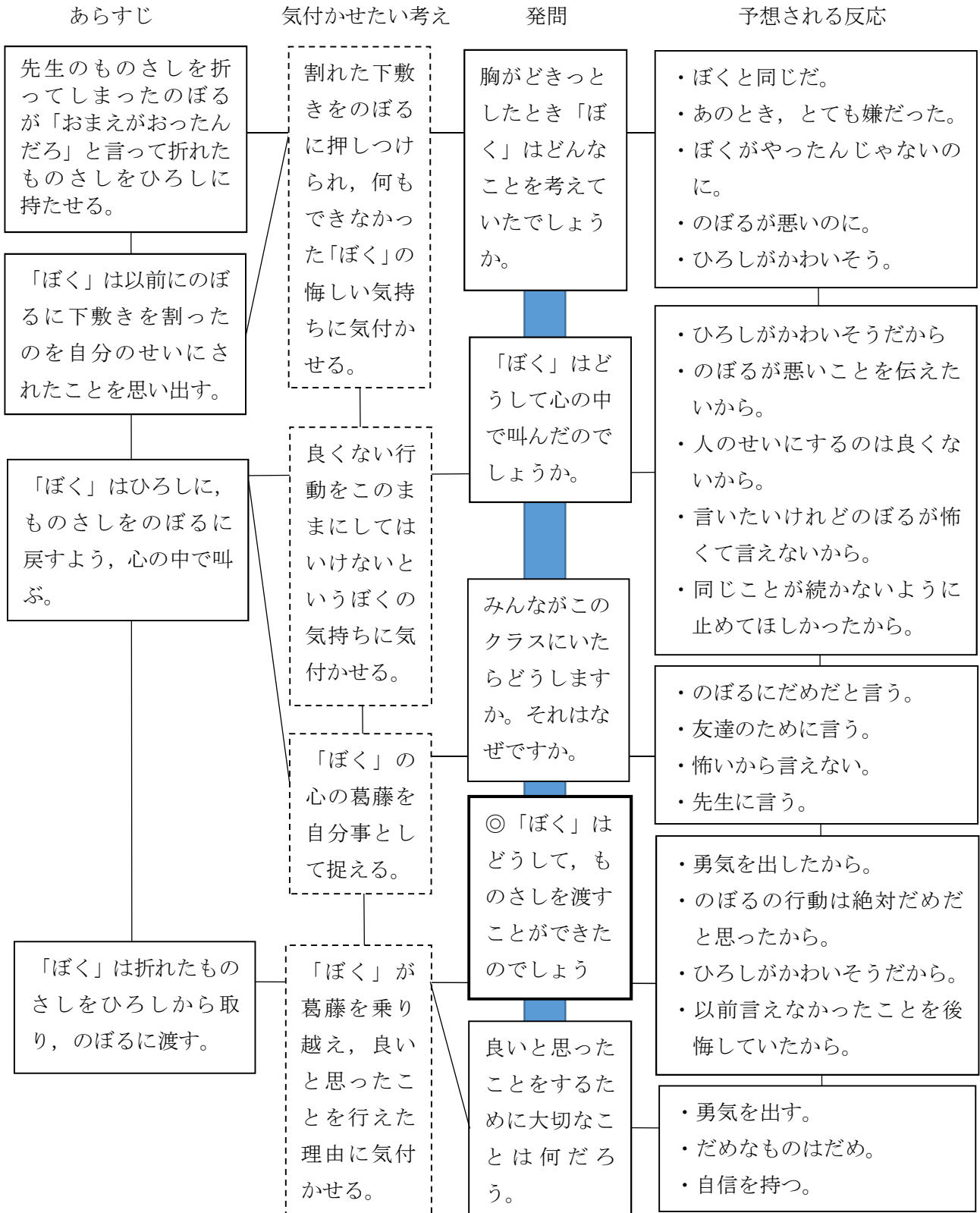
児童の学習状況を見取るために、座席表とワークシートを活用する。2年生の発達段階では、文章で自分の思いを伝えるのが難しい児童も多い。そこで「ぼく」がのぼるにもものさしを渡すことができた理由を、善悪の判断、勇気、友情等の道徳的価値から考えたのかが分かるように記号化し、授業中の発言を座席表に記すことができるようにする。

4 教材分析・発問構成・・・別紙

5 学習指導過程・・・別紙

6 他の教育活動との関連・・・別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問(◎中心的な発問) ●補助発問 ・児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。(一斉)</p> <p>2 課題をつかむ。(一斉)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>よいと思ったことをするために、大切なことはなんだろう。</p> </div>	<p>○友達が良くないことをしていたら、あなたはどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良くないと言える。 ・言えない。 ・分からない。 	<p>・教材と近い話を挙げ、良くないと分かっている友達に言えないことがあることを確認し、共感させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>友達が良くないことをしているにもかかわらず注意できない状況を生活経験から想起させ、本時の課題に対する問題意識を持たせる。 (問)</p> </div>
展開 30分	<p>3 範読を聞き、話の内容を理解する。(一斉)</p> <p>4 割れた下敷きをのぼるに押しつけられ、何もできなかったときの「ぼく」の気持ちを考える。(一斉)</p> <p>5 良くない行動をこのままにはいけないと思う「ぼく」の気持ちを考える。(一斉)</p>	<p>○胸がどきとしたとき、「ぼく」はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくと同じだ。 ・あのとき、とても嫌だった。 ・ぼくがやったんじゃないのに。 ・のぼるが悪いのに。 ・ひろしがかわいそう。 <p>●下敷きを割ったことを「ぼく」のせいにされたとき、言い返せなかったのはどうしてですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のぼるに何か言われるのが怖かったから。 <p>○「ぼく」はどのようにして心の中で叫んだのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひろしがかわいそうだから ・のぼるが悪いことを伝えたい 	<p>・範読の前に、登場人物について簡単に押さえ、内容を理解しやすくする。</p> <p>・「ぼく」の気持ちを考えながら範読を聞かせる。</p> <p>・割れた下敷きをのぼるに押しつけられたことがずっと「ぼく」の心の中に残っていることに気付かせる。</p> <p>・本当は言い返したかったが、力関係でのぼるが強い存在であることから、言い返せなかった「ぼく」の気持ちに気付かせるために補助発問を用意する。</p> <p>・良くない行動をこのままにはいけないという気持ちと、のぼるのが怖いという気持ちの中で葛藤す</p>

<p>展 開 30 分</p>	<p>6 「ぼく」の心の葛藤を自分のこととして捉える。 (一斉)</p> <p>7 「ぼく」が葛藤を乗り越え、良いと思ったことを行えた理由を考える。 (一斉)</p>	<p>から。 ・人のせいにするのは良くないから。 ・同じことが続かないように止めてほしかったから。 ・言いたいけれど、のぼるが怖くて言えないから。</p> <p>○自分がこのクラスにいたら、どうしますか。 ・のぼるにだめだと言う。 ・友達のために言う。 ・怖いから言えない。 ・先生に言う。</p> <p>◎「ぼく」はどのようにして、ものさしを渡すことができたのでしょうか。 ・勇気を出したから。 ・のぼるの行動は絶対だめだと思ったから。 ・ひろしがかわいそうだから。 ・以前言えなかったこと後悔していたから。</p> <p>○良いと思ったことを行うために大切なことは何だろう。 ・勇気を出す。 ・だめなものはだめ。 ・自信を持つ。</p> <p>●「ぼく」はものさしを渡すことができて、どのように思ったでしょう。 ・渡せてよかった。 ・嬉しい。 ・心がすっきりした。</p>	<p>る「ぼく」の気持ちを押しさえる。</p> <div data-bbox="1054 548 1428 806" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ぼく」の心の葛藤をこれまでの自分の体験から感じたり、考えたりすることで自分との関わりで考えさせる。(自)</p> </div> <p>・言葉では伝えられなかったが、行動で示した「ぼく」の気持ちを押しさえる。</p> <div data-bbox="1054 1019 1428 1232" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>良いと思ったことを行うときに支えとなる様々な気持ちについて考えさせる。(多)</p> </div> <div data-bbox="1054 1243 1428 1556" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><評価> 良いと思ったことを行うときに支えとなる様々な道徳的価値について考えていたか。 (多)【話し合い・発言・観察】</p> </div> <p>・良いと思ったことを行えたときのすがすがしい気持ちに気付かせるために補助発問を用意する。</p>
-----------------------------	---	--	--

終 末 10 分	8 自己の生き方について考 える。 (個人)	○あなたは今日の授業でどん なことを考えましたか。分か ったことや気付いたこと、こ れからやってみたいことを 書きましょう。 ・みんながにこにこできるよ うに、だめなことはだめって教 えてあげたいと思います。 ・ぼくも、怖くて言えないかも しれないけれど、できること を見付けてやりたいと思い ます。 ・言えないままだと、自分もみ んなもモヤモヤしたままに なるから、勇気を出して伝え てみようと思います。	・本時で考えたことや今後の 生活に生かしていきたいこ とを視点として示し、振り 返らせる。 良いと思ったことを行うた めに大切なことについて書 かせることで、自分の生活 を振り返り、自己の生き方 について考えを深めさせ る。 (自) (生) ＜評価＞ 良いと思ったことを行う ことについて、自分との関 わりで考え、今後の生活に どのように生かすかを考 えているか。(自) (生) 【ワ ークシート・観察・発言】
-------------------	---------------------------	--	---

(問)：問題意識を持たせる

(多)：多面的・多角的に考えさせる

(自)：自分との関わりで考えさせる

(生)：自己の生き方について考えさせる

【評価】

＜児童の評価＞

- ・良いと思ったことを行うときに支えとなる様々な気持ちについて考えていたか。

(多) 【話し合い・発言】

- ・良いと思ったことを行うことについて、自分との関わりで考え、今後の生活にどのように生かすかを考えていたか。

(自) (生) 【ワークシート・観察・発言】

＜教師側の授業評価＞

- ・良いと思ったことを行うときに支えとなる様々な道徳的価値（善悪の判断、勇気、友情等）について考えさせることができたか。

(多) 【話し合い・発言・観察】

- ・良いと思ったことを行うために大切なことについて書かせることで、自分の生活を振り返り、自己の生き方について考えを深めさせることができたか。

(自) (生) 【ワークシート・観察・発言】

【板書】

○月○日 「おれたものさし」

言える
言えない
分からない

のぼる
ひろし

むねがどきつとした
ぼくと同じだ。
とてもいやだった。
ぼくじゃないのに。

こころの中でさげんだ

ひろしがかわいそう。
だめなものだめ。
のぼるにつたえたい。

言えない

こわい。
なにか言わ
れるかも。

ぼく

ゆうきをだした。
ちゃんとした方がいい。
ひろしがかわいそう。
いえばよかったと思っ
ていたから。

ゆうきを出す。
だめなものはだめ。
じしんをもつ。

ものさしを
わたせた。

挿絵
うれしい。
すっきり。

よいと思ったことをするために大切なことはなんだろう。

【準備物】

教師：教科書，人物絵，ワークシート

児童：教科書，筆記用具

(別紙) 6 他の教育活動との関連

